

田中つねお 市政レポート

(田中常郎)

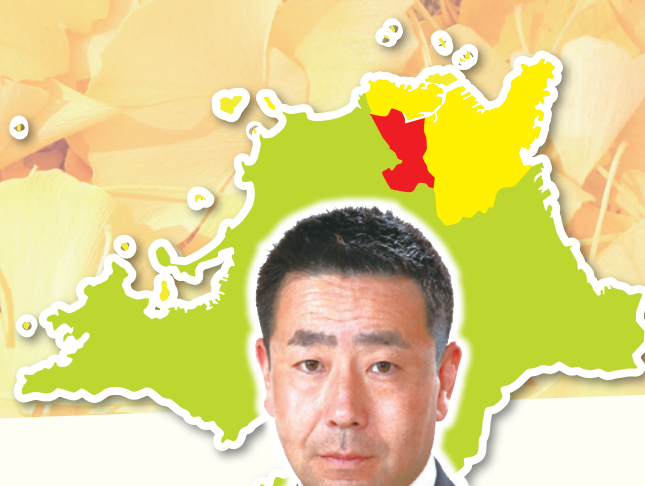
「大きな夢の挑戦者」「小さな声の代弁者」

田中つねお事務所

〒807-0831 北九州市八幡西区則松6丁目7-11
TEL 093-602-8417 FAX 093-236-7555
URL: <https://tanaka-tsuneo.net/> E-mail: hanamax@tanaka-tsuneo.net

令和4年10月号

出会い感謝
縁にあづかる



TANAKA TSUNEO

PROFILE

昭和41年3月20日生まれ
緑ヶ丘第二幼稚園 則松小学校
昭和56年3月則松中学校卒業
昭和59年3月東海大学附属第五高等学校卒業
平成26年3月北九州市立大学地域創生学群
地域創生学類卒業

平成21年1月に市議会議員に初当選。
総務財政委員会 委員
環境建設委員会 委員
平成25年1月に2期目市議会議員に当選。
総務財政委員会・委員長
環境建設委員会 委員
平成29年1月に3期目市議会議員に当選。
環境水道委員会 委員
平成31年3月
環境水道委員会 委員
議会運営委員長 委員長
令和3年1月に4期目市議会議員に当選。
建設建築委員会 委員
自由民主党・無所属の会 幹事長 現在に至る

<社会活動&現在の役職>

NPO則松金山川コスモス会 理事長
北九州市花咲く街かどづくり推進協議会副会長
八幡西区花咲く街かどづくり推進協議会会長
北九州なぎなた連盟会長
八幡西地区柔道連盟理事
日本おもと協会東筑支部 相談役
保護司
学校法人緑ヶ丘学園評議員

市政レポート発行にあたり

日頃からご支援賜ります事に厚く御礼申し上げます。
9月定例会が令和4年9月2日から10月4日までの33日間の会期で開かれました。
令和3年度決算・令和4年度補正予算について、
ご報告させていただきます。

令和4年9月議会報告

令和3年度決算について

1. 決算の収支状況について

○一般会計の決算

歳入 6,457億6,200万円
歳出 6,380億3,300万円
歳入歳出差し引き77億2,900万円
で、これから繰越にかかる財源を差し
引いた実質収支は49億1,700万円
の黒字となっています。

○特別会計

国民健康保険特別会計ほか21会計で、
歳入 4,061億8,100万円
歳出 3,914億4,500万円
歳入歳出差し引き147億3,600
万円で、これから繰越にかかる財源を
差し引いた実質収支は145億5,5
00万円の黒字となっています。

○企業会計

損益収支は、上水道事業会計、工業用
水道事業会計、下水道事業会計、公営
競技事業会計の4会計が黒字となり、
交通事業会計、病院事業会計の2会計
が赤字となりますが、年度末資金剰余
は6会計全てで黒字となっています。

2. 決算の概要について

令和3年度は、「SDGs 未来
都市への挑戦」コロナに打ち勝ち、
未来へつなぐグリーン成長推進予
算」をキャッチフレーズとして、特
に重点的に取り組むべき3つの柱
を掲げ、新型コロナウイルス対策に万全を期
すとともに、2050年の脱炭素社
会の実現に向けた取組などのグ
リーン成長戦略やデジタル改革を
はじめ、本市の成長につながる事業
を推進しました。同時に、新型コロ
ナに対応するため、補正予算の編成
や予備費の活用など、必要な予算措
置を切れ目なく行いました。

①『新型コロナウイルスの感染拡大 防止と市民生活への支援』

新型コロナウイルス感染症対策と
して、北九州市PCR検査センターの
運営や、身近な医療機関でのPCR検
査の実施、保健所機能の強化などに取
り組むとともに、医療機関への給付金
の支給や、自宅療養者支援を実施する
とともに、ワクチンの円滑な接種の実
施に努めました。
事業継続のための地域経済対策と
しては、中小事業者等に対する、家賃
等賃借料支援金や一時支援金、月次支
援金の給付や、公共交通事業者に対す

る支援などを実施しました。

市民の消費の喚起を図るため、商店
街等のプレミアム付商品券の発行に
対する支援やクラウドファンディン
グを活用した飲食店への資金調達支
援、本市への観光・宿泊を誘発するた
めの宿泊キャンペーンなどを実施し
ました。また、低所得の子育て世帯や
18歳以下の子ども、住民税非課税世帯
等に対し給付金を支給するなど、新型
コロナの影響を受けた市民生活を支
援する取組を推進しました。

②『まちのにぎわいや未来への 飛躍に向けた成長戦略の実行』

北九州空港の3,000メートル級
滑走路の早期実現、航空貨物の拠点化
に向けて、集貨促進や貨物施設の拡充
など、ソフト・ハードの両面における
取組を推進しました。

風力発電関連産業の総合拠点の形
成に向けた取組として、洋上ウインド
ファームの建設に使用するSEPC船
等作業船の係留施設等の整備などの
取組を推進しました。

IT企業誘致やスタートアップ企
業の創出に向けた取組として、オフィ
スの整備に対する補助制度の創設、サ
テライトオフィス設置に向けた検討
経費の助成などに取り組ましました。

文化・スポーツの分野では、まちの
にぎわいの創出に向けた取組として、
「東アジア文化都市北九州」や、「20
21世界体操・新体操選手権北九州大
会」などを開催しました。

デジタル改革の推進として、「北九
州市DX推進計画」を策定し、市民
サービスの向上や業務の効率化、働き
方改革を推進するため、手続きのオン
ライン化、デジタルバйд対策など
に取り組ましました。

③『子育て・教育など誰もが安心して 住み続けられるまちづくり』

子育て支援の取組として、特定不妊
治療への助成制度を拡充するととも
に、一般不妊治療・不育症の検査・治療
にかかる助成制度を開始するととも
に、子ども医療費について、助成対象
を高校生入院・通院にかかる医療費
まで拡充しました。また、不登校の子
どもに対する伴走型支援や、児童相談
所の機能強化に取り組ましました。

教育環境の充実では、35人以下学級を
小学校の全学年で実施し、1人1台の
タブレットを活用した教育の推進や、
小学校における特別支援教室の全区
設置などに取り組ましました。
防災対策の推進として、河川の改修
や雨水管整備、上下水道の耐震改修な

ど、豪雨・地震災害から市民を守るた
めのインフラ整備に取り組ましました。
都市基盤整備の推進として、戸畑枝
光線や恒見朽網線などの主要幹線道
路の整備や折尾地区総合整備事業な
どを着実に進めました。

3. 令和4年度9月補正予算について

一般会計で210億9,884万円
の増額、特別会計で25億5,318
万円の増額、企業会計で5,710万
円の増額を行いました。

主な事業として、新型コロナウイルス
感染症への対応として、オミクロン
株対応ワクチン接種について追加接
種の迅速かつ円滑な推進に要する経
費や、自宅療養者に必要となる食料
品・日用品等の支援、医療支援体制を
整備する経費などを計上しました。

物価高騰等対策として、特に家計へ
の影響が大きい低所得世帯に対し、1
世帯当たり5万円をプッシュ型で支
給する経費や、長引くコロナ禍におい
て、家計が逼迫している低所得の子育
て世帯を支援するため、児童一人当た
り5万円を本市独自に給付する経費
などを計上しました。

また、旦過地区における大規模火災
を受け、市内の木造飲食店等に対する
防火指導強化に要する経費や、商店街
等の被災事業者を支援するため、事業
再開に必要な店舗移転経費や賃借料
の補助に要する経費などを計上しま
した。

その他、市内の宿泊需要を喚起する
ため、国の観光需要喚起策に上乘せし
て、市内の宿泊施設で利用できる宿泊
クーポンを発行するための経費や、令
和5年2月に開催される「WDSI
Breaking for Gold World Series in
北九州」における開催地負担金及び
COVに要する経費などを計上しました。
特別会計補正予算について、卸売市
場特別会計では、人手不足等への対策
として、市場関係者による農作物等の
自動選別機や加工用機械等の導入費
用の助成に要する経費を計上しまし
た。介護保険特別会計では、令和3年
度決算に伴う国・県への返還金及び介
護給付準備基金への積立金に要する
経費を計上しました。

企業会計補正予算について、交通事
業会計では、COV廃棄物処理事業の
継続に伴う、若松区を中心とした地域
振興策の一環として、市営バスにCOV
バスを導入し脱炭素の取組を推進す
るための経費を計上しました。

